

パラアスリート（車いすバスケットボール選手）学校訪問

12月3日、5年生を対象としたパラアスリート学校訪問がありました。おいでいただいたのは千葉ホークス：作田 竜哉選手、大本 将貴選手、植木 隆人選手、緋田 高大選手の4名です。

この事業は三つの意義があります。

① パラスポーツへの関心向上と魅力の発信

- ・競技への興味・関心の向上：トップレベルの選手によるデモンストレーションや競技体験を通じて、車いすバスケットボールをはじめとするパラスポーツのスピード感や迫力、そして楽しさを児童生徒が肌で直接感じ、興味をもつきっかけを提供します。
- ・競技の理解促進：競技のルールや用具（競技用車いすなど）について学ぶことで、パラスポーツに対する正しい理解を深めます。

② 共生社会の実現に向けた教育

- ・共生社会の大切さを伝える：アスリート自身の経験や挑戦、困難の乗り越え方についての講話を通じて、スポーツのすばらしさだけでなく、障害の有無にかかわらず誰もが尊重し合える共生社会の重要性を伝え、多様性を認め合う心を育みます。
- ・生き方のロールモデル：選手がスポーツを通じて達成したことや、社会で活躍している姿は、お子さん達にとって大きな夢や目標をもつためのすばらしい手本となります。

③ 精神的な成長と教育的効果

- ・スポーツの価値を学ぶ：アスリートが経験から得た努力の大切さ、諦めない心、仲間との連携といったスポーツのもつ普遍的な価値や、人生哲学を直接伝えることができます。
- ・地域とのつながり：地元のチームである千葉ホークスの選手との交流は、地域への愛着や誇りを育むきっかけにもなります。





実際に競技用車いすを使って「車いすバスケットボール」を体験したお子さん達。選手1名に5名のお子さんがチームを組んで対戦しました。ボールがコートから出そうになり、ボールを追うのを諦めたその瞬間、疾風の如くカバーに入る選手の姿に思わず感嘆のため息が出ました。







最後の選手への「質問コーナー」では質問が数多く出されました。

「なぜ、車いすバスケットを選んだのですか？」 ふむふむ・・・。

「一番モテると聞いて・・・」 ほうほう・・・。

「試合の前は緊張しますか？」「試合の前に聞く曲はありますか？」 なるほど・・・。

「緊張しますね」「よく聞く曲は外国の曲です。歌詞を考えないで済むので」 そうかあ・・・

中にはこんな質問があり・・・

「好きな寿司のネタは何ですか？」 ???

「・・・サーモンです。」

「コンビニ弁当は好きですか？」 !!!

「・・・あまり食べません。」

選手も苦笑い。会場もずつこけてしまいました・・・。

